

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

【第40回】

「太田小放課後キッズクラブ」

～共に子ども達を育てていく連携の姿～

神奈川県横浜市立太田小学校長 鳴本 敏子

平成16年度より「はまっこふれあいスクール」から太田小放課後キッズクラブに代わりました。この太田小学校のある地域は近くに『みなとみらい21』があったり伊勢佐木町の繁華街があったりするところです。共働きをしている家庭が多く、放課後の子ども達の過ごし方には多くの課題がありました。そんな環境もあって開設当初より多くの児童が放課後キッズクラブに入り、現在では全校児童の80%が登録しています。毎日90名近い子ども達が楽しく放課後の時間を過ごしています。太田小放課後キッズクラブは日々のメニューが豊富で地域の方のご協力でペットボトルロケット大会や焼き芋大会、お餅つきなどが行われています。学校の外へも積極的に出かけ工場見学や宿泊体験も年間何回か行われています。また、お祭り等地域の行事にも積極的に参加し地域との交流も盛んです。単に留守家庭の子ども達が放課後キッズクラブで過ごしているという感じではありません。異学年の関わりを大切にし学年にあった役割を与えて思いやりや責任感も育ててくれていると思います。現在の主任指導員さんになった頃から学校とキッズクラブ間の情報交換を密にして同じ太田小の子ども達という意識を学校職員もキッズの職員も持つようになってきました。そうすることで学校での子ども達の様子を伝えたり、キッズでの様子を知らせたりとスムーズな連携ができるようになりました。午後7時過ぎの職員室ではキッズの職員と太田小の教員が和気あいあいと子ども達のことを話している姿が多く見かけられます。情報交換といっても堅苦しい雰囲気はなく共に子ども達を育てているといった感じです。キッズクラブと学校とのぶれがなく子ども達が安心してどちらの生活もおくれることが大切だと考え、これからも太田小の子ども達を学校・キッズ・保護者・地域で一緒に育てていければと願っています。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第139号に掲載）